

漆工芸大下香仙工房の蒔絵ジュエリーブランド

『装飾の森』 Classic Ko exhibition

会場：Showcase (Spiral 1F) 東京都港区南青山 5-6-23 スパイラル 1F

会期：2017年5月15日(月)～21日(日) 11:00～20:00

Press Day 2017年5月16日(火) 12:00～18:00



石川県山中で、明治初期から続く漆芸工芸大下香仙工房の蒔絵ジュエリーブランド、Classic Ko (クラシック・コー) が、5月15日(月)より、東京・青山のショウケース (スパイラル 1F) にてエキシビション (展示・販売) を開催致します。

古くは奈良時代からはじまり日本独自の技法として発展してきた蒔絵は、寺院建築や家具をはじめ茶器などに施され、中世から近世にかけ、貴族や武家を中心に調度品として扱われてきました。また、日本らしい雅で華麗な美術品として輸出され、ヨーロッパを中心に海外からも高く評価されています。

1894年に創立以来120年余り代々蒔絵を作り伝えてきた大下香仙工房が展開するジュエリーブランド Classic Ko は、時代を経て受け継がれてきた装飾技術“蒔絵・漆”の手技を駆使しながらも現代の感性で継がれる独自のミックス感覚を持った美しさを表現しています。

テーマは『装飾の森』

『森、水、空、光、動植物、鉱物、自然現象』は大下香仙工房の蒔絵師が昔から常にインスピレーションを受けてきた情景であり、日本の美意識の中にある自然史感の源であります。また、Classic Ko の意匠デザインは森林の重なりのように幾重にもわたるイメージやスケッチを重ね、そのジュエリーひとつひとつのデザインにはそれぞれ背景があり、深い伝統技術によって成り立っています。

本イベントでは『装飾の森』をテーマとして、Classic Ko が生み出している装身具とその背景も一緒にご紹介します。

伝統的な工芸技術である蒔絵の技術、道具、下図、アイデアソース、歴史、などアーカイブスとしての知の森も展示された空間で Classic Ko の世界観をご体感ください。

Collection

Classic Ko のコレクションは、金・銀などの金属粉や色粉を用いた蒔絵技法や、夜光貝などを切り透かした細かな貝片をちりばめる螺細など、時代を経て受け継がれてきた手技を駆使しながら、職人が一点一点つくりあげています。デザインを白蝶貝や天然石のベースに描いたのち、温度や湿度を調整し数日かけて乾燥させます。その後、丹念に磨き上げることで漆の艶と輝きが生まれます。

日本独自の技法でありながらも、デザインは国境や文化を超え、"Spicy Label" "Florale Label" "Citrus Label" "Herbal Label" の四つの「香」かおりをイメージしたレーベルで構成されています。

細かな筆さばきから生み出される繊細なラインによって描かれる花や草木などの自然のモチーフや、人物や動物の柔らかな表情など、それぞれの職人の技術の高さと感性が光るコレクションです。



MINAMO hat-oin ¥28,000



Hedgehog pin ¥28,000



Fiore indigo earring ¥25,000



FLEUR brooch ¥57,000



MYORIKA + 10K chain necklace ¥41,500



DECO Lauts RADEN bangle ¥35,000



FLORET Dot Pearl Ring ¥55,800 made to order



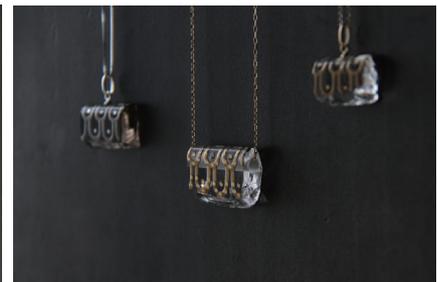
Floret Dot Pearl Necklace + 10K ¥43,000



MOROCCAN D Brooch ¥32,000



ROSETTA ring ¥32,000 made to order



Smokey Quartz Ala Silver Pendant(M)
Quartz Ala Gold Pendant (L)
Quartz Ala Gold Pendant (M)
¥53,000 ~ made to order

ブランド プロフィール

「古典的な、一流の、時代に左右されない」などの意味をもつ [Classic / クラシック]

初代「雪香(せつこう)」より代々受け継がれる「雅号」としての「香(Ko)/ コー」

「Ko」は、「その人の美意識・感性を [香り] として纏う(まとう)」という意味も込めています

自分自身の人生における時間の中で、自分らしく心地よく過ごさせてくれる音楽やお気に入りの香水の香りのように、一人一人にとっての高揚感と豊かさに繋がるクリエイション。

「Classic Ko」は、時代を経て受け継がれてきた 装飾技術『蒔絵・漆』の手技を駆使しながらも、現代の感性によって継がれる独自のミックス感覚を持った「美しさ」を築いています。

漆工芸大下香仙工房

日本の伝統工芸である蒔絵は、海外に類例のない日本独自の漆芸技法として知られ、古くは日本の奈良時代(710年～794年頃)の正倉院宝物に蒔絵の初例が確認されています。主に大名道具として豪華絢爛かつ高度な技術を培ってきた蒔絵は、江戸末期には財力のあった町人たちの趣向品(町人文化)としても花開き、明治中期に最盛期を迎えました。

後に技術力の高い生産地として東京・京都・金沢が発展し、外貨を稼ぐ日本の有力な輸出品としても成長していくこととなる蒔絵は、フランスのマリー・アントワネットがお気に入りの調度品だったことでも広く知られており、日本で独自に発展した技術として受け継がれてきています。

漆工芸大下香仙工房(うるしこうげいおおしたこうせんこうぼう)は、初代・大下雪香が金沢で習得してきた高度な装飾技術を要する加賀蒔絵を故郷の山中の地で広め伝えるべく1894年(明治27年)に創立されて以来120年余り、代々蒔絵を作り伝えてきました。現代に入っても主に茶器・棗の制作などに加え、印籠や根付けといった美術工芸品を制作する傍ら、国内外万年筆メーカーの高級蒔絵万年筆の意匠開発から蒔絵の仕立てまで一貫したデザインと生産を長年に渡り手掛けるなど、高雅で清冽な加賀蒔絵の技による美意識を築いています。

大下宗香 Director / artisan

大下香苑 Designer / artisan

大下 香征 C.Ko Creative Director / artisan

大下 亜紀香 Designer / artisan

大下 百華 Designer / creator

今井 厚子 Designer / artisan



【お問い合わせ先】

Classic Ko / 大下香仙工房

〒922-0325 石川県加賀市二子塚103-2 tel. 0761-77-5250 fax. 0761-77-5450 e-mail. info@classic-ko.jp

web. <http://www.classic-ko.jp> online shop. <http://www.classic-ko.net>

【プレスに関するお問い合わせ先】 ※ご取材、商品及び画像のお貸し出しに関するお問合せは、下記までご連絡ください。

デイリープレス 山本真澄 m.p. 090-4062-6361 tel. 03-6416-3201 e-mail. masumiyamamoto@dailypress.org